

第6節 都市経営の視点に立った行政運営

第1項 市民ニーズに基づく行政経営を行います

めざしたい将来像:

50万人になろうとする市民が、安心して住みやすく、満足してもらえるようなまちを実現します。そのため、継続的な対話を経た力強い連携から政策が生まれる仕組みづくりをし、経営基盤を強化します。

指標

住み続けたいと思う人の割合

(1) 指標の説明

誰もが住みやすい環境形成が実現できれば、今後も住み続けたいと思う意向が強くなると考えます。そこで、住み続けたいと思う人の割合を指標とします。

(2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「個人・意向」

Q20 あなたは、これからも松戸市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1 住み続けたい | 4 あまり住み続けたくない |
| 2 できることなら住み続けたい | 5 住み続けたくない |
| 3 どちらとも言えない | |

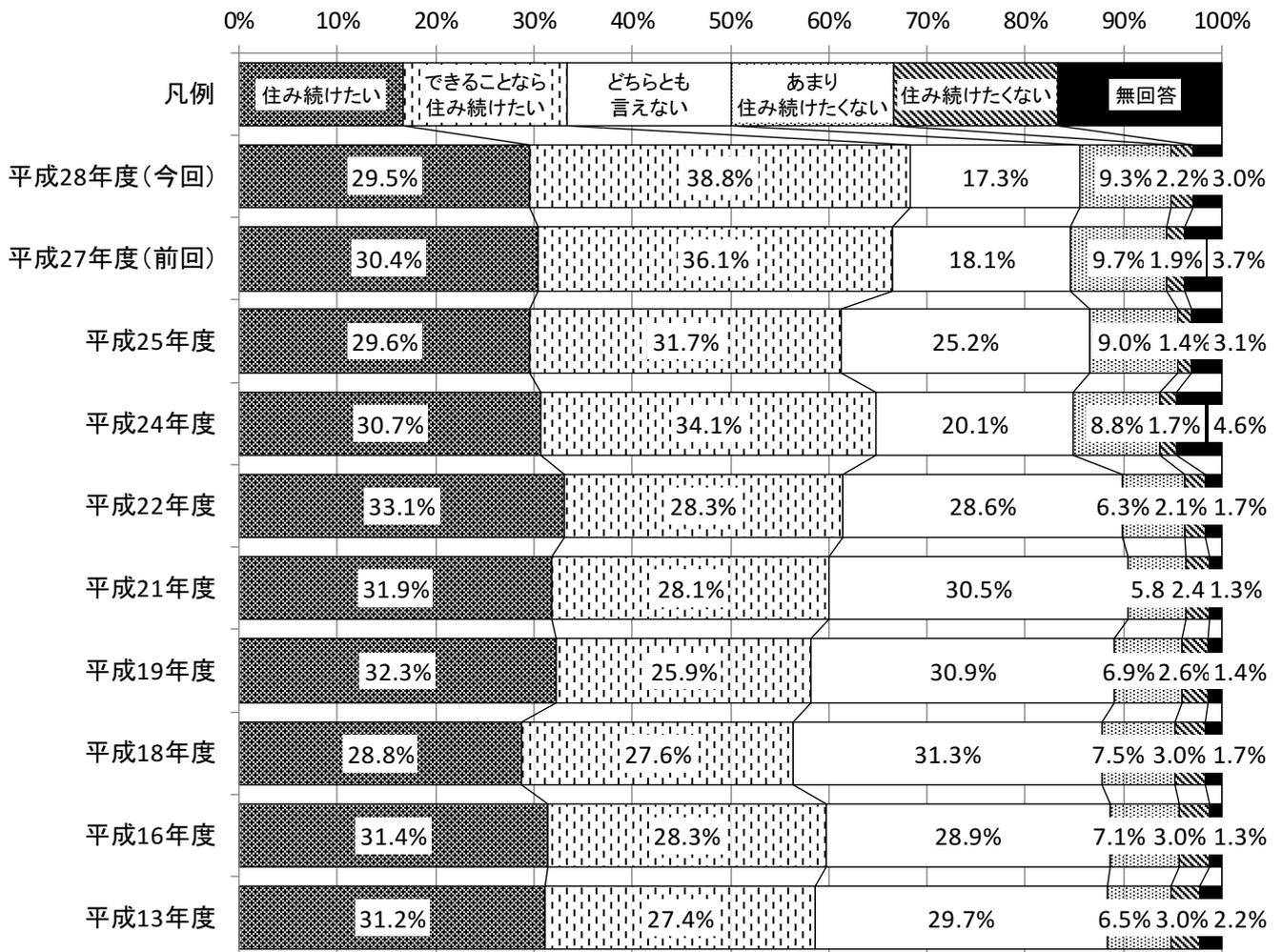
(3) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度
住み続けたい	31.2%	31.4%	28.8%	32.3%	31.9%	33.1%	30.7%	29.6%	30.4%	29.5%
できることなら住み 続けたい	27.4%	28.3%	27.6%	25.9%	28.1%	28.3%	34.1%	31.7%	36.1%	38.8%
計	58.6%	59.7%	56.4%	58.2%	60.0%	61.4%	64.8%	61.3%	66.5%	68.3%

(4) 指標の分析

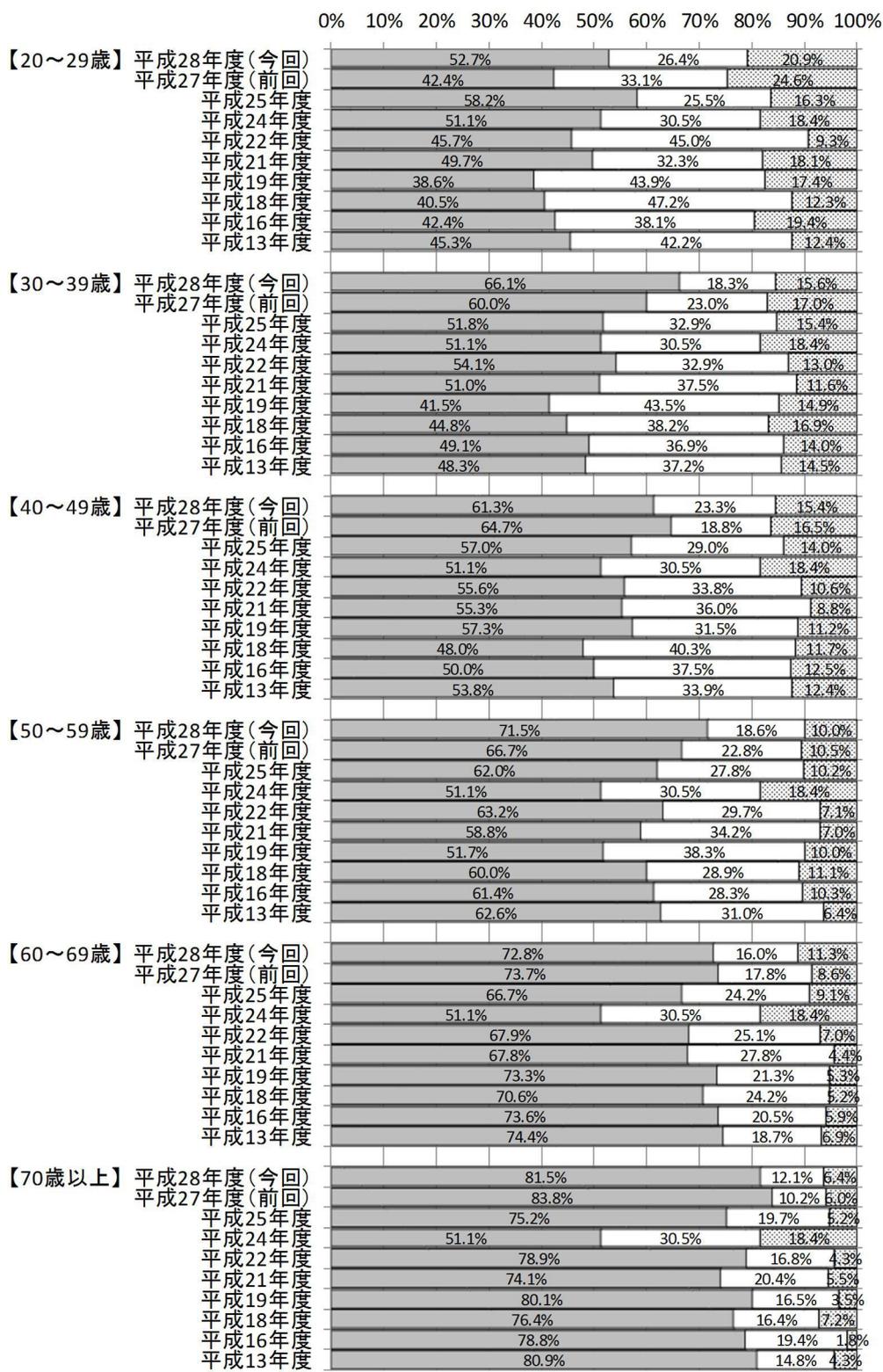
☆松戸市への定住意向は、7割近くが定住の意向を示しています。

“住み続けたい”との回答は29.5%であり、約3分の1を占めています。前回調査と比べ“住み続けたい”、“できることなら住み続けたい”という本市への定住意向を示す回答の割合は68.3%に達しています。



年齢別にみると、前回調査と同様に“住み続けたい”と“できることなら住み続けたい”という割合は、年代とともに高くなる傾向がみられます。また、“30～39歳”においても、“住み続けたい”と“できることなら住み続けたい”という割合が、60.0%から66.1%と6.1ポイント増加しています。

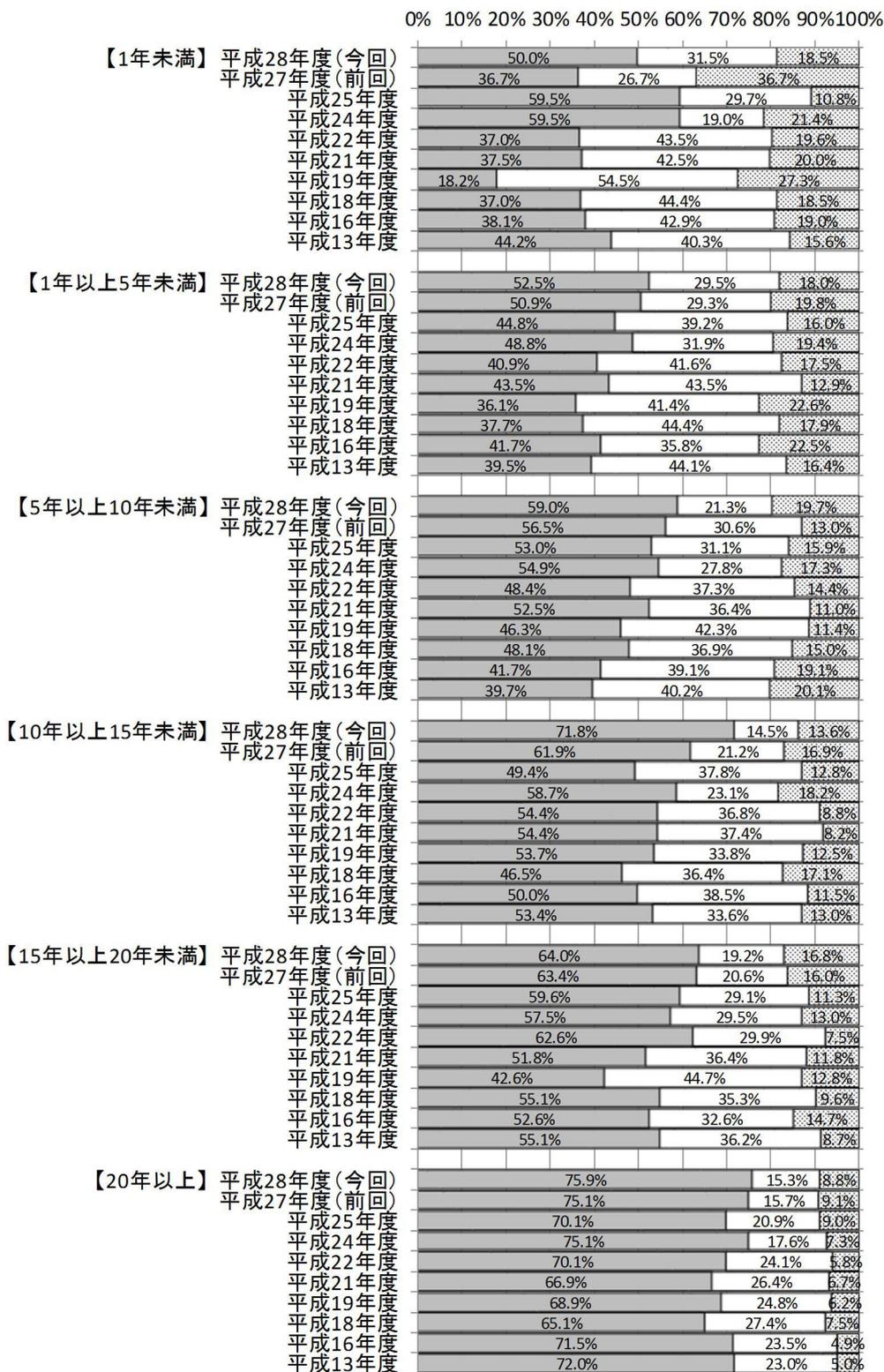
【定住意向×年齢】



- “住み続けたい”と“できることなら住み続けたい”の合計比率
- “どちらともいえない”の比率
- ▨ “あまり住み続けたくない”と“住み続けたくない”の合計比率

在住年数別にみると、“住み続けたい”と“できることなら住み続けたい”の割合は、“20年以上”の人で75.9%であり、最も高くなっています。次いで、“10年以上15年未満”の人(71.8%)の順となっており、前回調査から9.9ポイント増加しています。

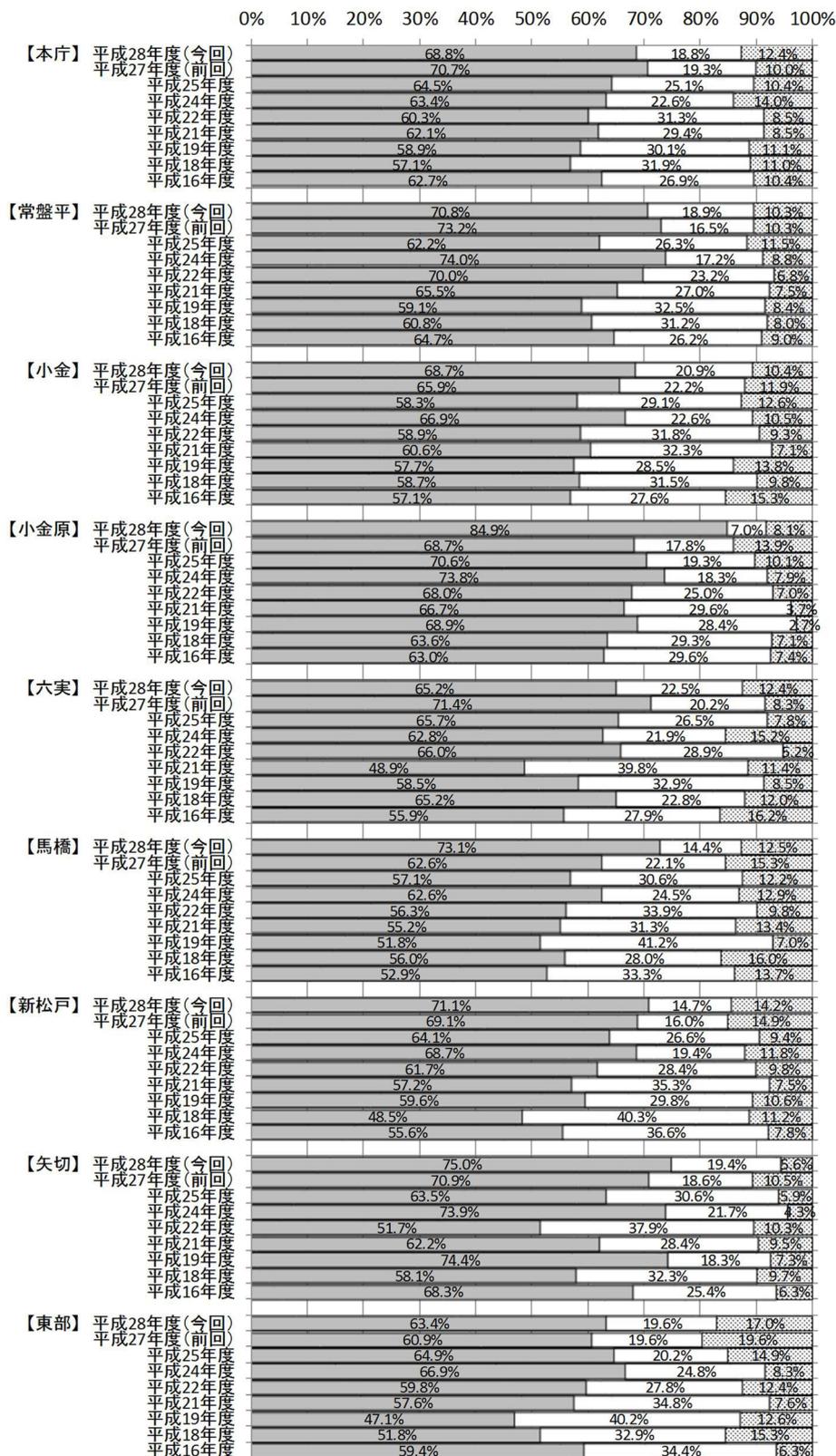
【定住意向×松戸市在住年数】



- “住み続けたい”と“できることなら住み続けたい”の合計比率
- “どちらともいえない”の比率
- ▨ “あまり住み続けたくない”と“住み続けたくない”の合計比率

地区別にみると、“常盤平地区”、“小金原地区”、“馬橋地区”、“新松戸地区”および“矢切地区”で“住み続けたい”と“できることなら住み続けたい”という割合は7割を超えています。とりわけ、“小金原地区”では84.9%に達しています。その他の地区でも、6割を超えています。

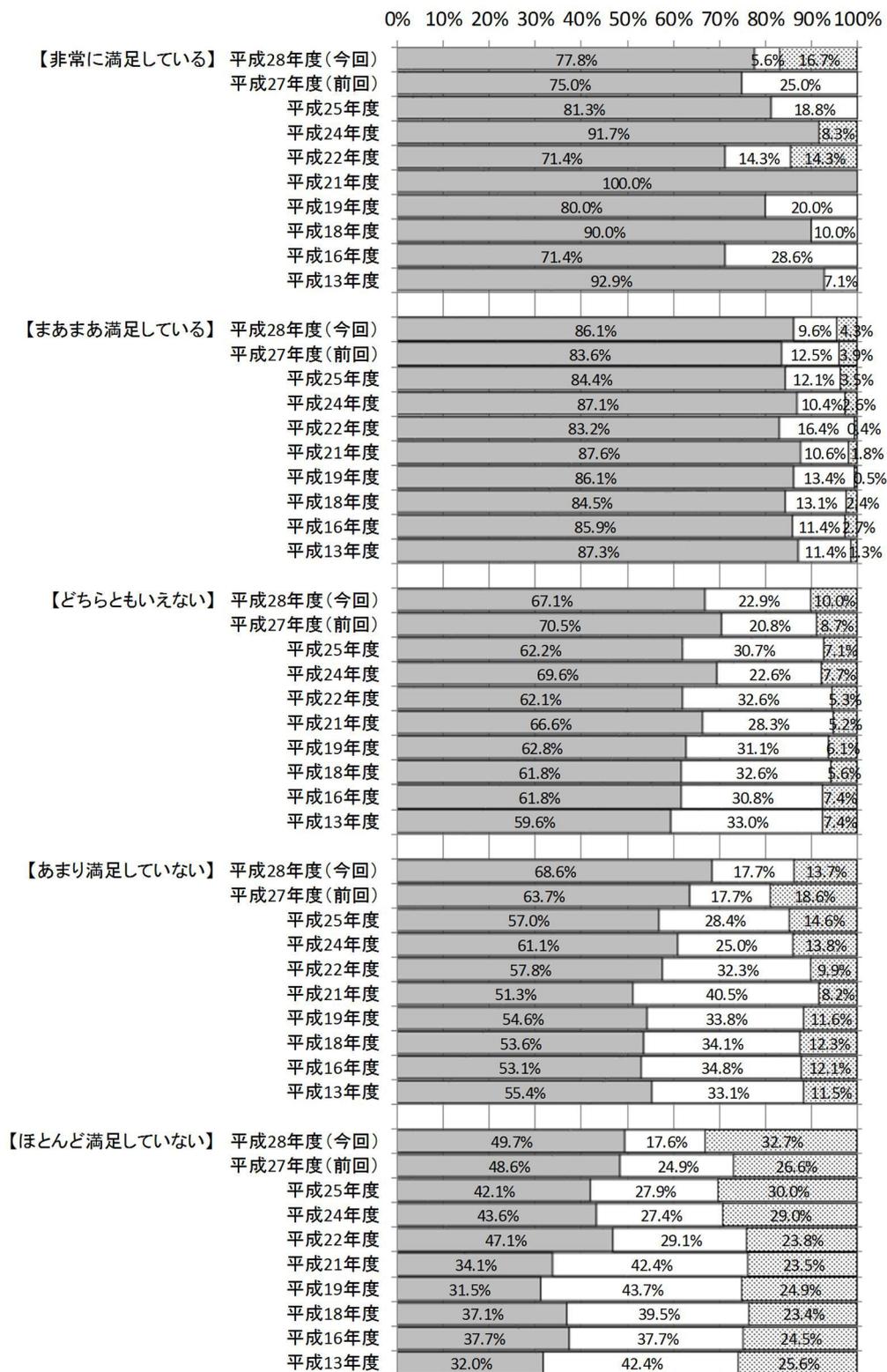
【定住意向×地区】



- “住み続けたい”と“できることなら住み続けたい”の合計比率
- “どちらともいえない”の比率
- ▨ “あまり住み続けたくない”と“住み続けたくない”の合計比率

現在の行政サービスの満足度別にみると、前回調査と同様に満足度が高い人ほど住み続けたい意向が高くなる傾向がみられます。また、ほとんど満足していない人では“あまり住み続けたくない”と“住み続けたくない”の合計が32.7%であり、前回調査から6.1ポイント増加しています。

【定住意向×税金の対価サービス満足度】



- “住み続けたい”と“できることなら住み続けたい”の合計比率
- “どちらともいえない”の比率
- ▨ “あまり住み続けたくない”と“住み続けたくない”の合計比率

指標

行政サービスの改善度

(1) 指標の説明

市民の満足度向上のため、行政サービスが改善されたと感じる人の割合を指標とします。

(2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「個人・意向」

Q17 あなたは、全体として松戸市の行政サービスについて、どのように感じていますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 以前より非常に良くなっている | 4 以前より多少悪くなっている |
| 2 以前より多少良くなっている | 5 以前より非常に悪くなっている |
| 3 以前と変わらない | |

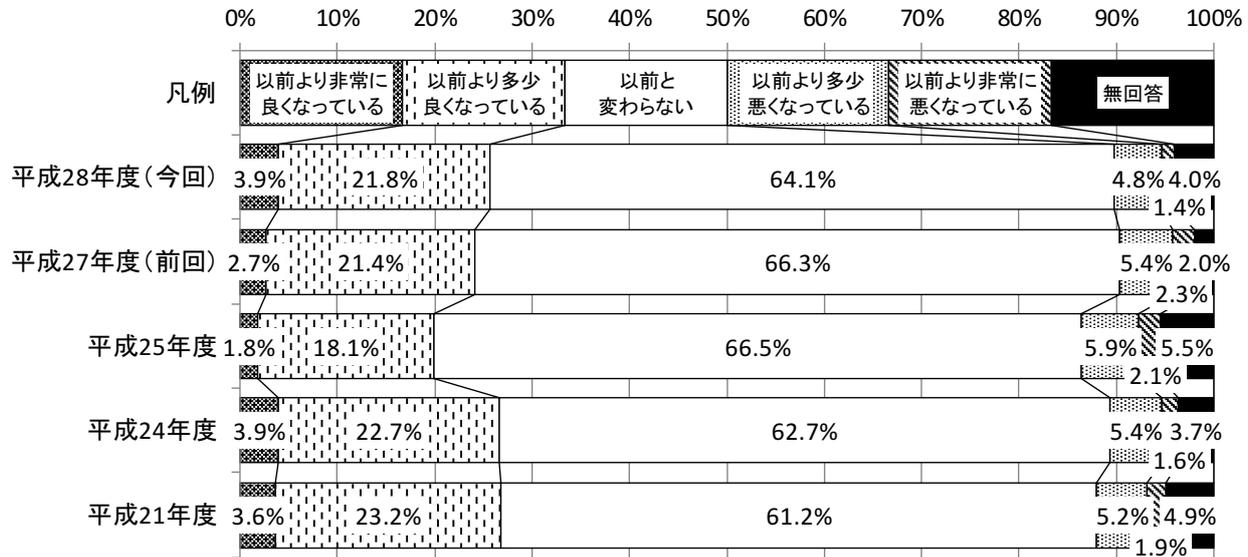
(3) 指標の現状

	平成 21年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度
以前より非常に良くなっている	3.6%	3.9%	1.8%	2.7%	3.9%
以前より多少良くなっている	23.2%	22.7%	18.1%	21.4%	21.8%
計	26.8%	26.6%	20.0%	24.1%	25.7%

(4) 指標の分析

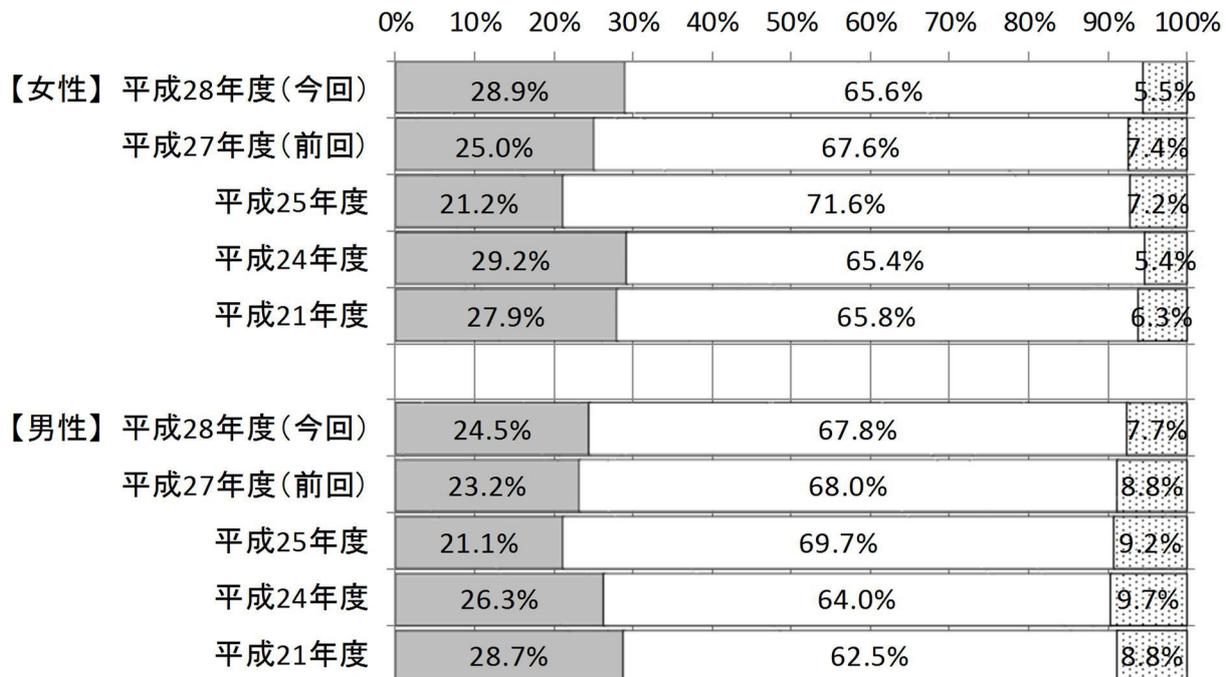
☆行政サービスが以前より良くなっていると感じている市民は2割と前回調査よりやや増加しています。

松戸市の行政サービスが“以前より非常に良くなっている”と“以前より多少良くなっている”と感じている人の合計は25.7%であり、前回調査と比べ1.6ポイント増加しています。



性別でみると、行政サービスが良くなっていると感じているのは“女性”28.9%、“男性”24.5%であり、男女とも前回調査より増加しています。また、以前より悪くなっていると感じている人の割合は、“女性”5.5%、“男性”7.7%であり、男女とも前回調査より減少しています。

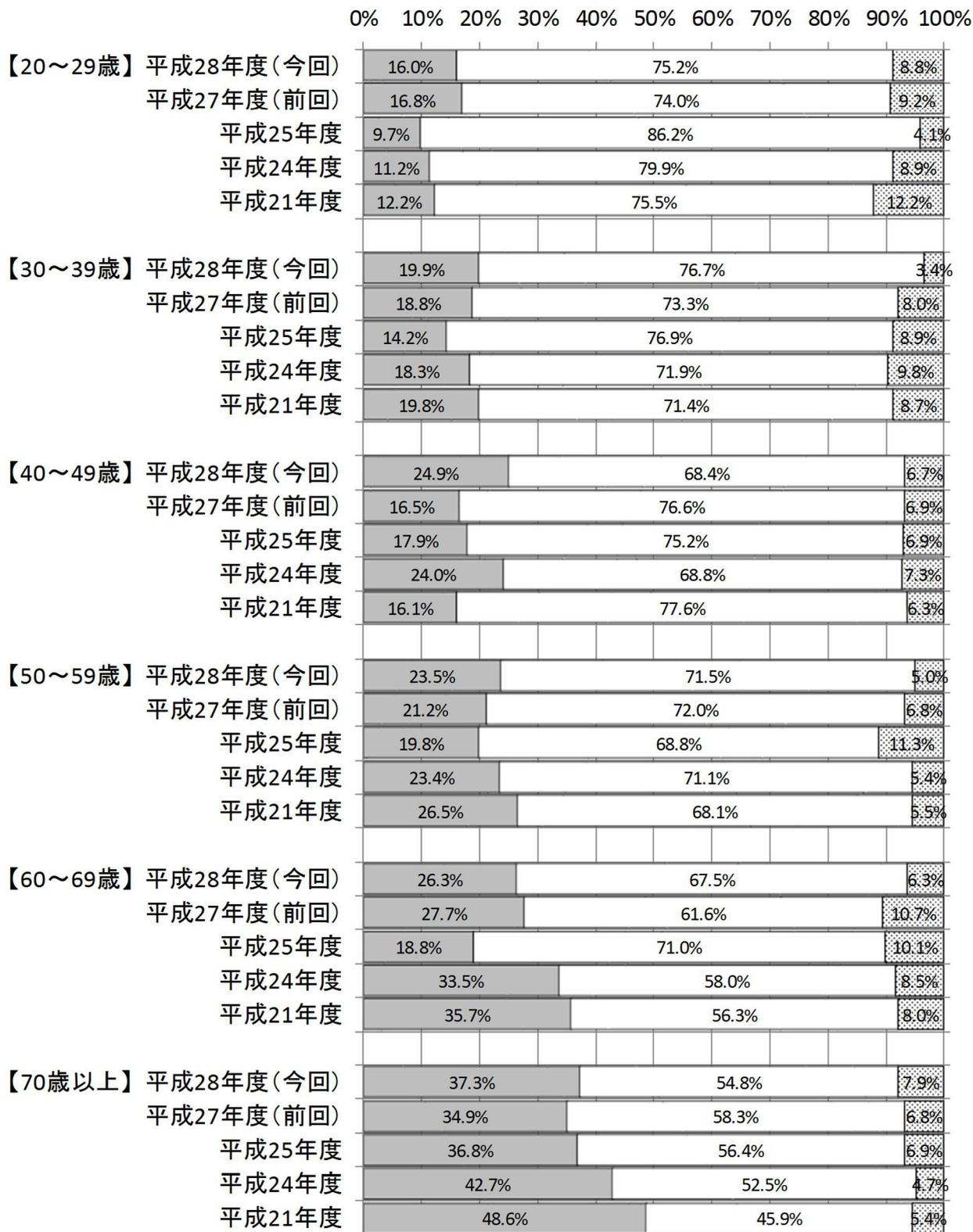
【行政サービスの改善度×性別】



- “以前より非常に良くなっている”と“以前より多少良くなっている”の合計比率
- “以前と変わらない”の比率
- ▨ “以前より多少悪くなっている”と“以前より非常に悪くなっている”の合計比率

年齢別にみると、“40～49 歳”の“以前より非常に良くなっている”と“以前より多少良くなっている”と感じている人の割合は 24.9%であり、前回調査より 8.4 ポイント増加しています。また、“70 歳以上”では“以前より良くなっている”と感じている人の割合が前回調査より 2.4 ポイント増の 37.3%であり、他の年齢層より高くなっています。

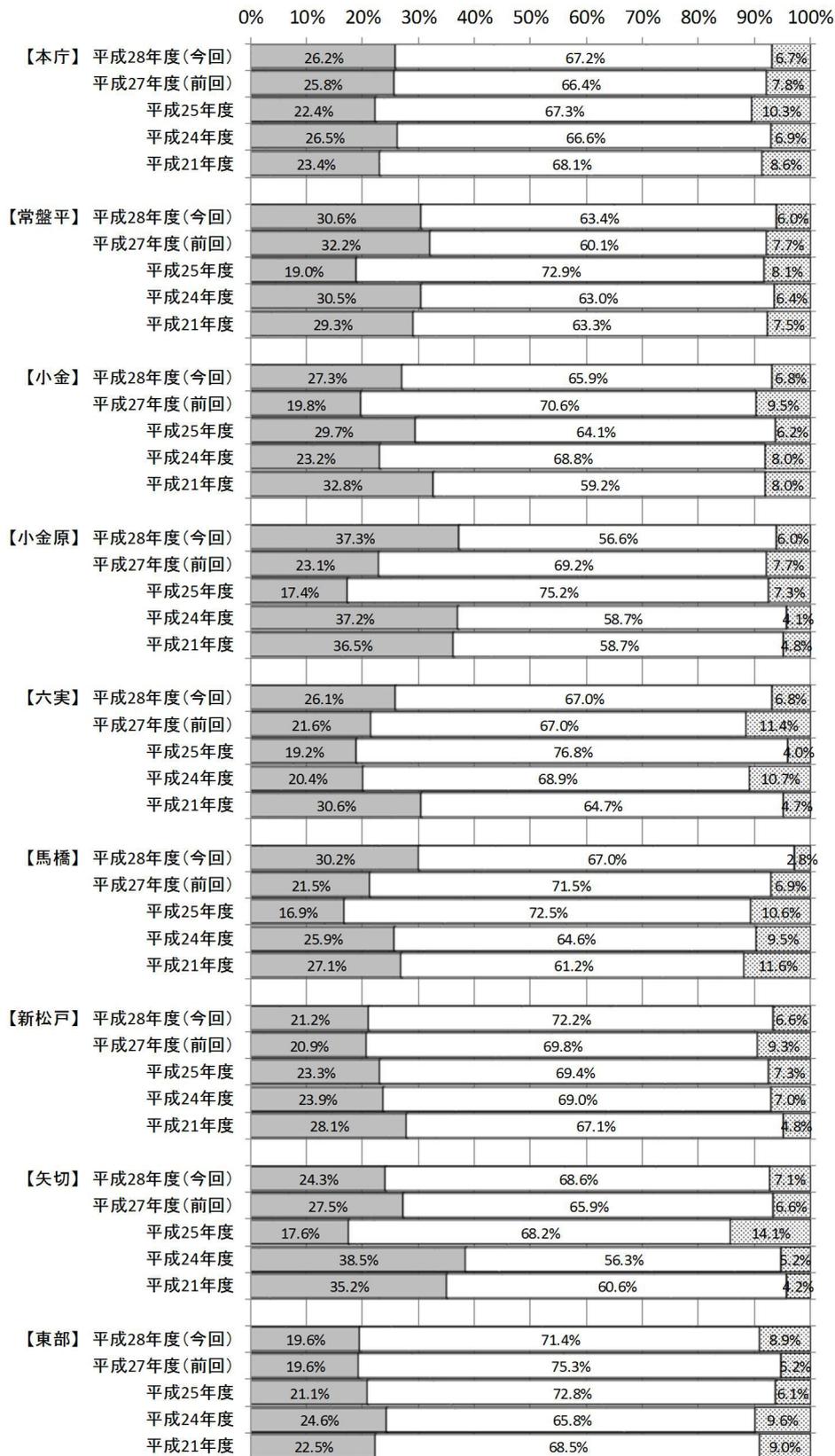
【行政サービスの改善度×年齢】



- “以前より非常に良くなっている”と“以前より多少良くなっている”の合計比率
- “以前と変わらない”の比率
- ▨ “以前より多少悪くなっている”と“以前より非常に悪くなっている”の合計比率

地区別にみると、“小金原地区”で以前より良くなっていると感じている人は前回調査より14.2ポイント増加して37.3%を占めています。次いで、“常盤平地区”(30.6%)、“馬橋地区”(30.2%)の順となっています。

【行政サービスの改善度×地区】



- “以前より非常に良くなっている”と“以前より多少良くなっている”の合計比率
- “以前と変わらない”の比率
- ▨ “以前より多少悪くなっている”と“以前より非常に悪くなっている”の合計比率

指標

行政情報入手手段に係るホームページの割合

(1) 指標の説明

行政の取り組みに関心を持つ市民が増えれば、ホームページで松戸市の情報を入手する市民も増えると考えられます。そこで、行政情報入手手段に係るホームページの割合を指標とします。

(2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。

F10 あなたは、松戸市の行政情報を主に何によって入手しているかお答えください。(2つまで○)

- | | |
|--|---------------|
| 1 テレビ・ラジオ | 7 各種パンフレット |
| 2 新聞・雑誌 | 8 町会などでの集会や会合 |
| 3 広報誌(広報まつど) | 9 市が主催する説明会など |
| 4 松戸市のホームページ | 10 特にない |
| 5 松戸市安全安心メール | 11 その他 |
| 6 ツイッター、フェイスブック等の SNS
(ソーシャル・ネットワーキング・サービス) | () |

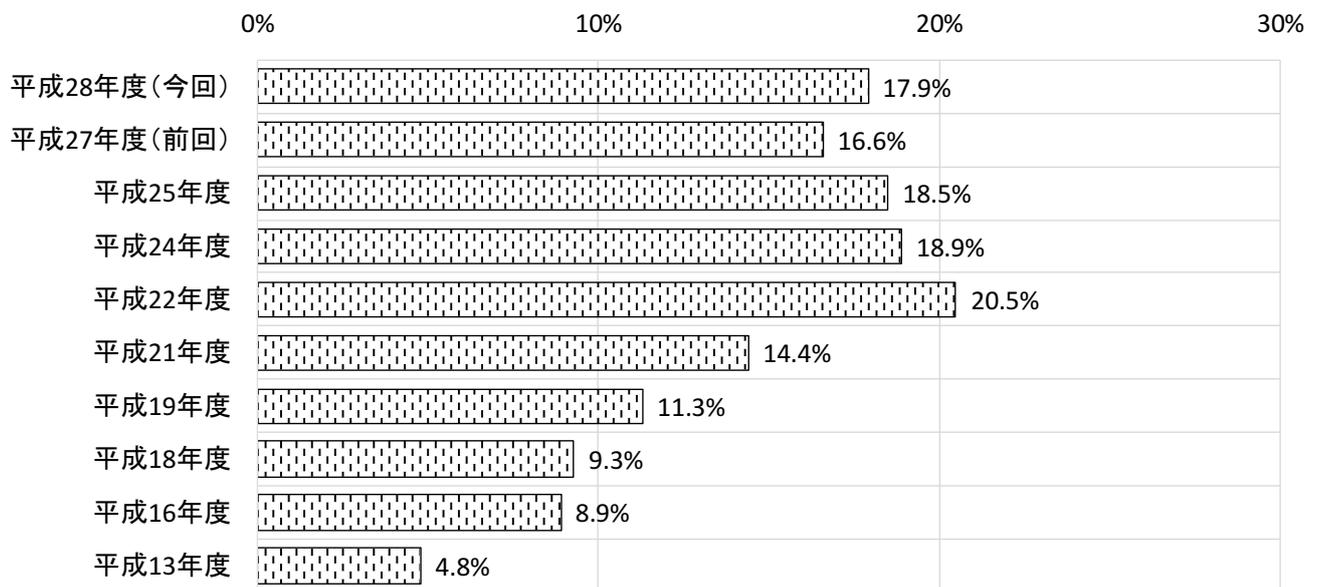
(3) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度
松戸市のホームページ	4.8%	8.9%	9.3%	11.3%	14.4%	20.5%	18.9%	18.5%	16.6%	17.9%

(4) 指標の分析

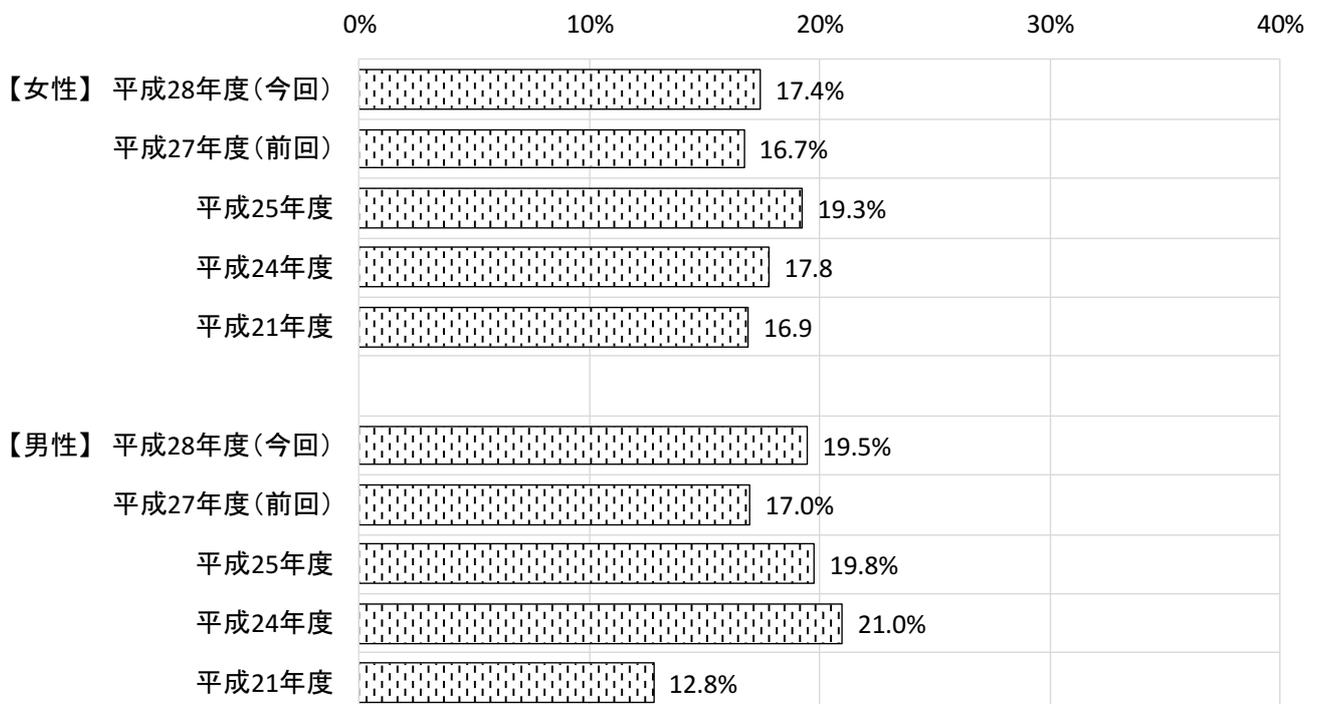
☆ホームページから松戸市の情報を入手している割合は年々減少しています。

ホームページから松戸市の情報を入手している人は17.9%であり、前回調査より1.3ポイント増加しています。



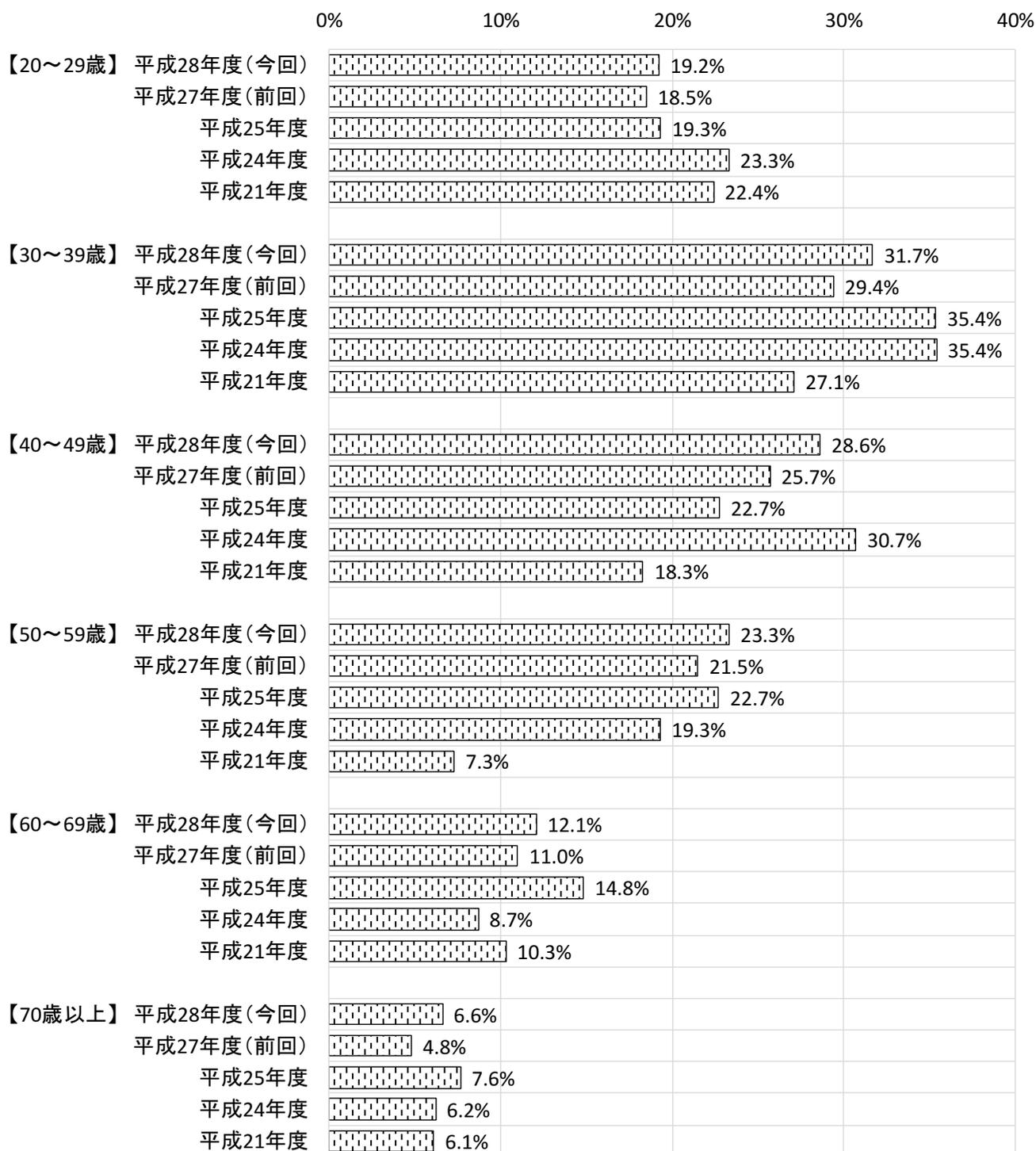
性別で見ると、ホームページから松戸市の情報を入手している人は、“女性”17.4%、“男性”19.5%であり、“男性”の方が多くなっています。男女とも、前回調査より増加しています。

【行政情報の入手手段×性別】



年齢別にみると、ホームページ”から松戸市の情報を入手している人は“30～39歳”が最も多く、31.7%を占めています。次いで、“40～49歳”の28.6%となっています。各年齢層とも、前回調査より増加しています。

【行政情報の入手手段×年齢】



指標

インターネットを利用している人の割合

(1) 指標の説明

インターネットを利用できる環境にある人は、その双方向性を活かして、活発に外部とのコミュニケーションを図ることにより、社会における活動範囲が拡大するとともに、生活の質の改善にもつながっていくと考えられます。そこでインターネットを利用している人の割合を指標とします。

(2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「個人・行動」

Q11 あなたは、ご自身でインターネット(携帯電話やスマートフォンによるネット利用を含む)を利用しますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 毎日のように利用している | 4 ほとんど利用していない |
| 2 時々利用している | 5 全く利用していない |
| 3 たまに利用している | |

併せて、付問(前問で1~3を選択した人のみ)により活用内容と利用媒体についても聞いている。

SQ1 あなたは、インターネットをどのようなことに活用していますか。(あてはまる番号全てに○)

- | |
|--|
| 1 電子メールの送信によく利用している |
| 2 メールマガジンやニュースなどのメール情報をよく受信している |
| 3 いろいろなホームページを開いて情報を入手している |
| 4 チケット予約やショッピング、オークション参加、株売買など買い物や取引
きをしている |
| 5 自分自身でホームページやブログ(フェイスブックやツイッター含む)などを利用し、情報を発信
している |
| 6 その他() |

SQ2 あなたのインターネット利用は、次の中のどれにあてはまりますか。(1つに○)

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1 パソコンからのみ利用している | 4 携帯電話・スマートフォンが主で、補助的にパ
ソコンを利用している |
| 2 パソコンが主で、補助的に携帯電話・スマート
フォンを利用している | 5 携帯電話・スマートフォンからのみ利用してい
る |
| 3 パソコン、携帯電話・スマートフォンの利用が
ほぼ半々である | 6 その他() |

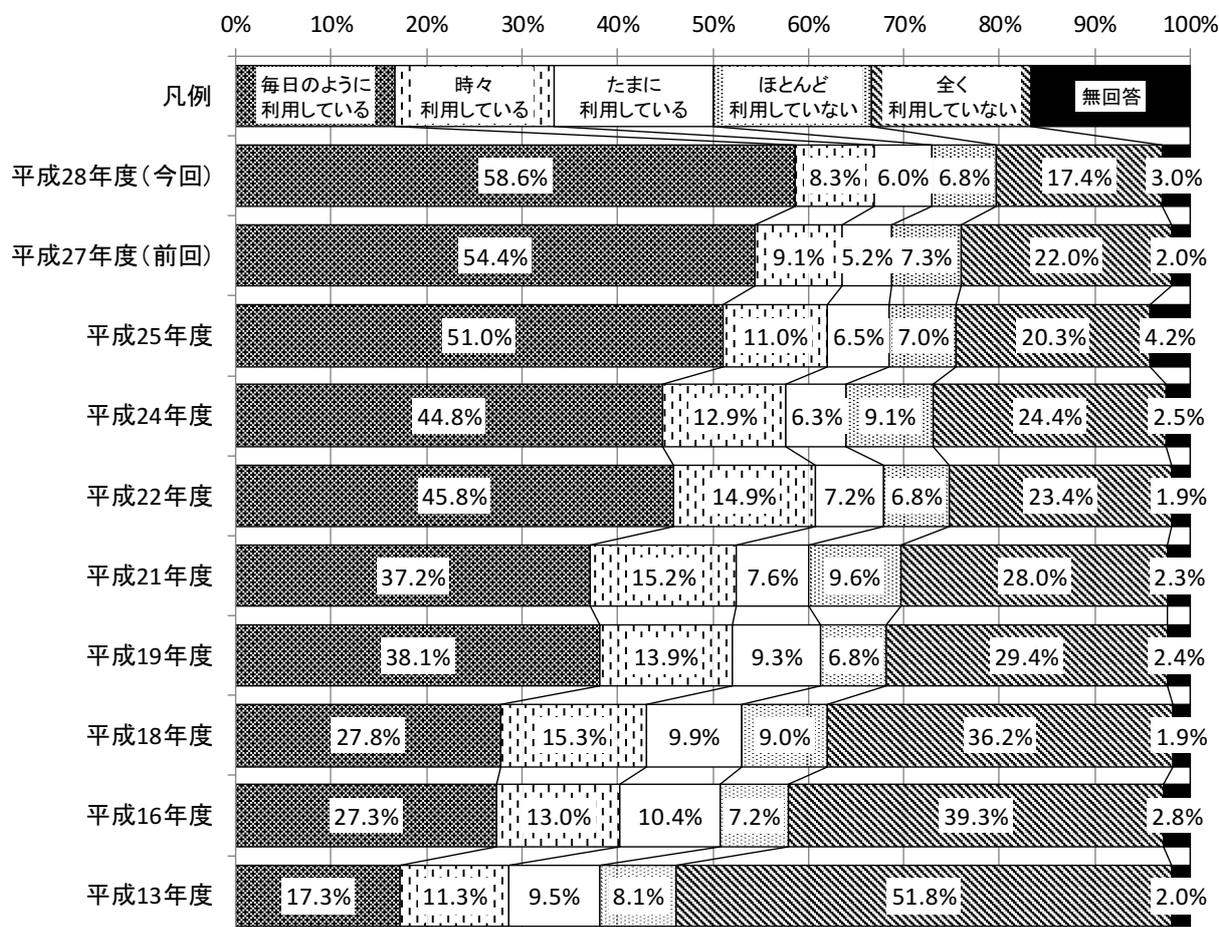
(3) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度
毎日のように利用している	17.3%	27.3%	27.8%	38.1%	37.2%	45.8%	44.8%	51.0%	54.4%	58.6%
時々利用している	11.3%	13.0%	15.3%	13.9%	15.2%	14.9%	12.9%	11.0%	9.1%	8.3%
たまに利用している	9.5%	10.4%	9.9%	9.3%	7.6%	7.2%	6.3%	6.5%	5.2%	6.0%
計	38.1%	50.7%	53.0%	61.3%	60.0%	68.0%	64.0%	68.5%	68.7%	72.9%

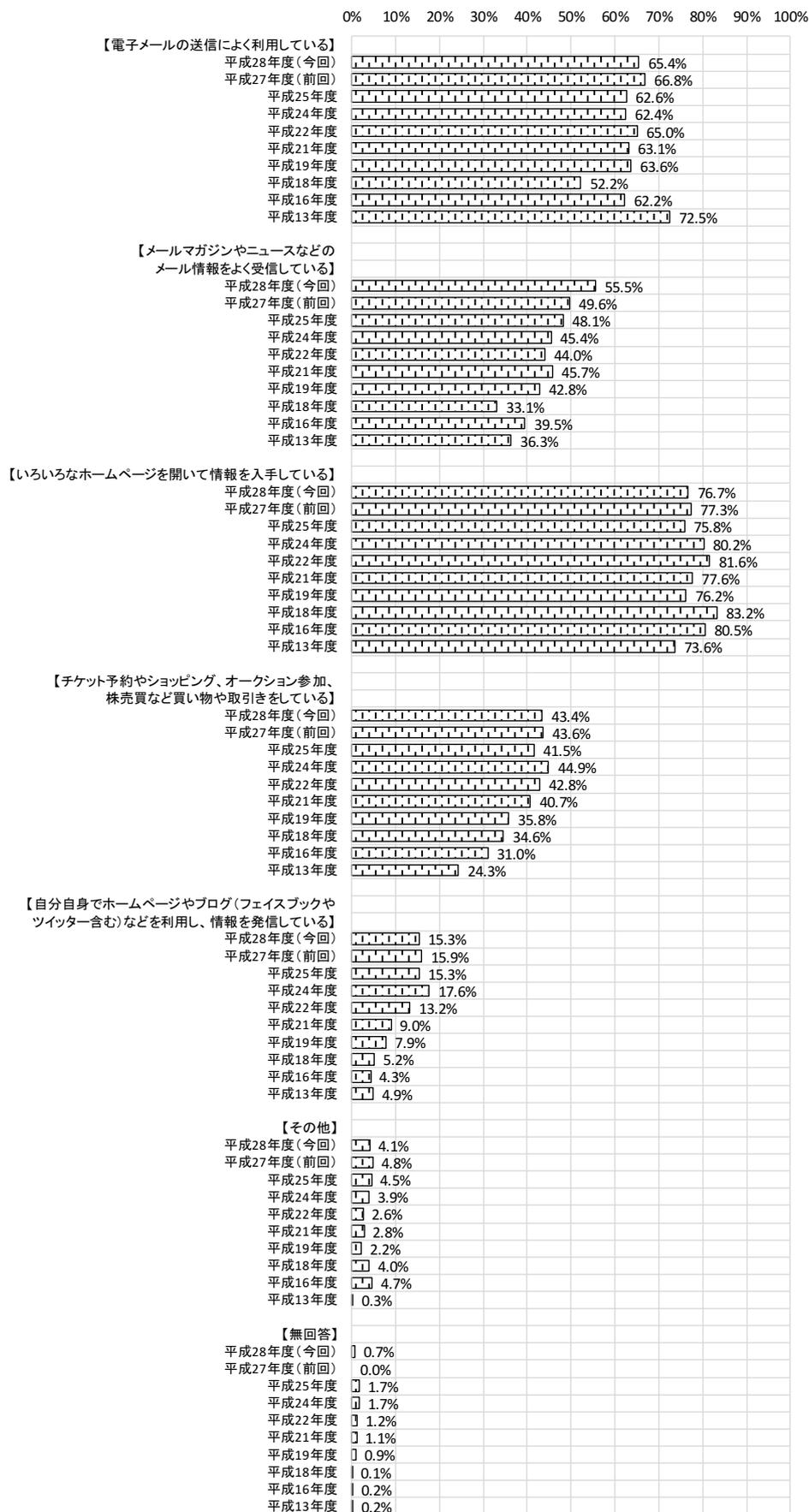
(4) 指標の分析

☆インターネット利用者は前回調査に比べやや増加し、7割以上を占めています。“毎日のように利用している”という利用頻度の高い人は6割近くに達しています。

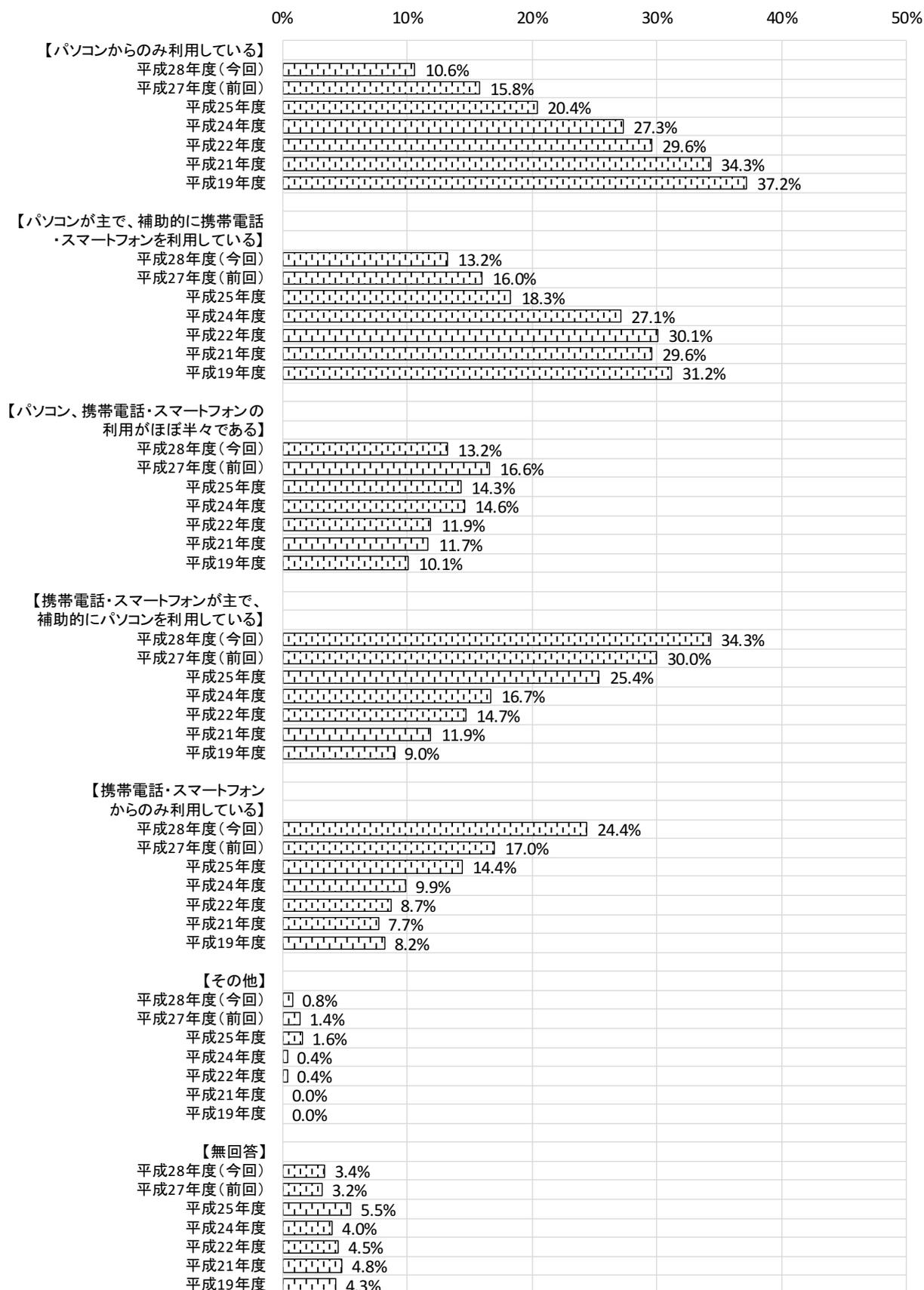
インターネットの利用状況を見ると、“毎日のように利用している”との回答が58.6%で最も多くなっており、6割近くに達しています。“時々利用している”(8.3%)、“たまに利用している”(6.0%)と合わせると、7割以上がインターネットを利用していると回答しています。



インターネット利用者の利用目的は前回調査と同様に“いろいろなホームページを開いて情報を入手している”(76.7%)が最も多く、次いで“電子メールの送信によく利用している”(65.4%)となっています。

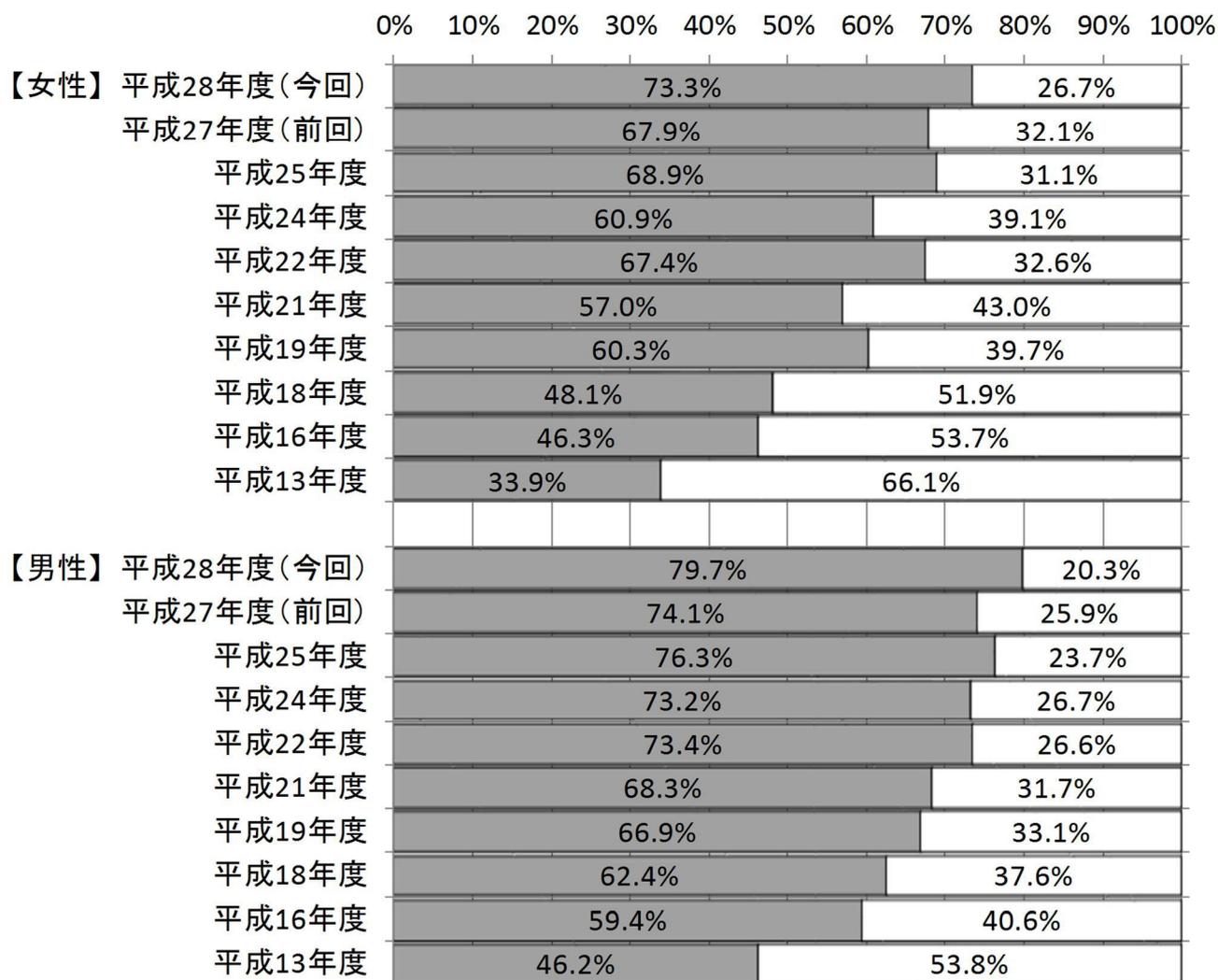


インターネット利用者のネットにアクセスする主な媒体についてみると“パソコンからのみ利用している”と回答する人の割合は急速に減少しており、10.6%となっています。逆に“携帯電話・スマートフォンが主で補助的にパソコンを利用している”、“携帯電話・スマートフォンからのみ利用している”と回答する人の割合は急速に増加しており、それぞれ 34.3%、24.4%となっています。



性別で見ると、男女とも増加傾向がみられ、“女性”は 73.3%であり、前回調査より 5.4 ポイント増加しています。“男性”は前回調査より 5.6 ポイント増の 79.7%に達しています。

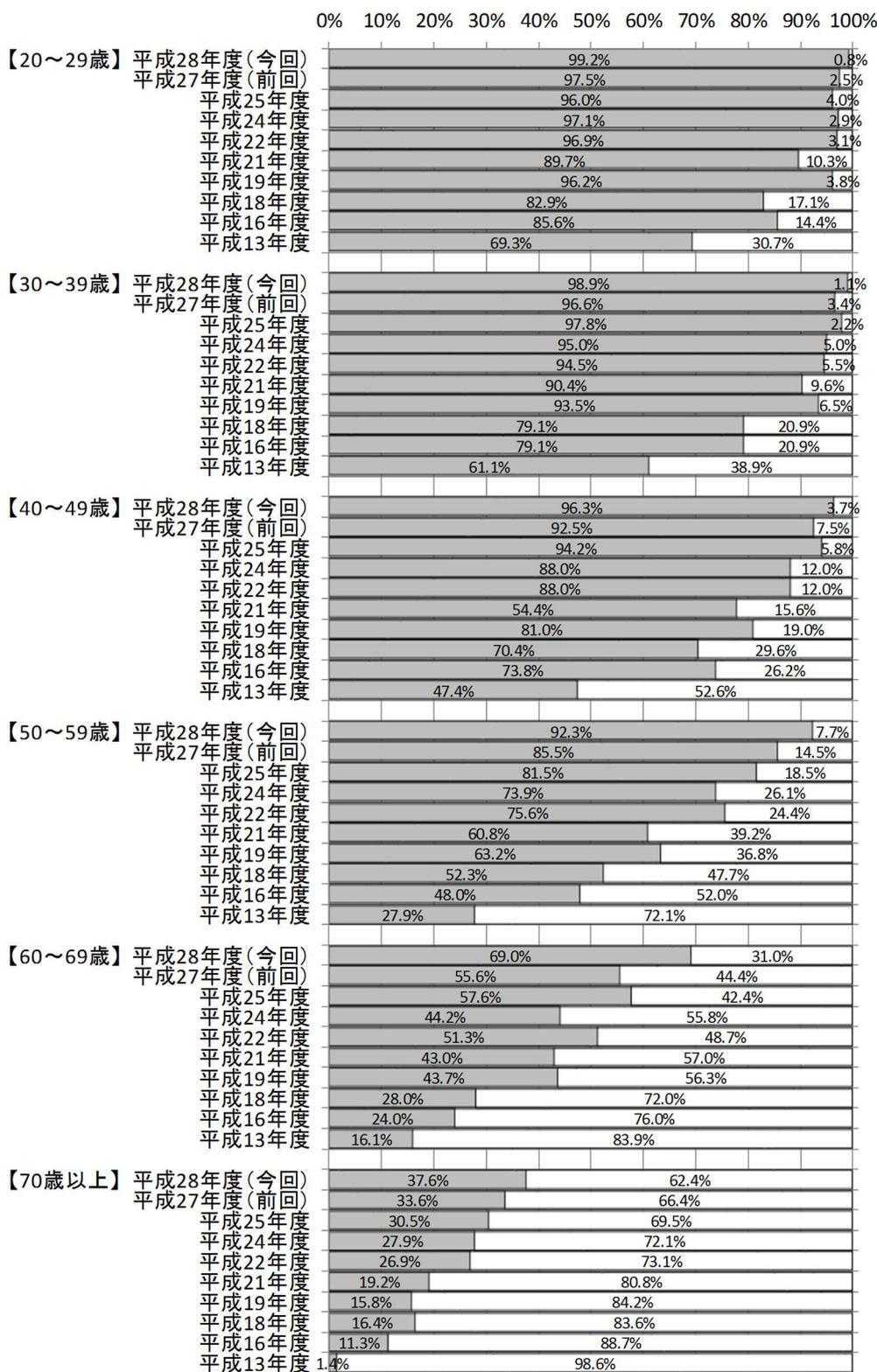
【インターネット利用×性別】



- ”毎日のように利用している”と”時々利用している”と”たまに利用している”の合計比率
- ”ほとんど利用していない”と全く利用していない”の合計比率

年齢別にみると、前回調査と同様に若い年齢層ほどインターネットを利用している人の割合が高い傾向にあり、“20～29歳”、“30～39歳”は、ほぼ100%近くなっています。また、“40～49歳”、“50～59歳”も増加傾向にあり、各96.3%、92.3%と高い利用率となっています。

【インターネット利用×年齢】



“毎日のように利用している”と“時々利用している”と“たまに利用している”の合計比率
 “ほとんど利用していない”と“全く利用していない”の合計比率

2 平成28年度指標値一覧

節	項	主な指標	平成	目指す方向								
			13年度	19年度	21年度	22年度	24年度	25年度	27年度	28年度	32年度	
			実績値	実績値	実績値	実績値	中間値	実績値	中間値	実績値	めざそう値	
1	1	市民活動(地域活動、NPO活動、ボランティア活動など)に参加している人の割合	27.1%	33.9%	26.0%	30.6%	30.8%	28.9%	30.5%	28.7%	40%	↑
	2	身の周りで人権が守られていると思っている人の割合	42.4%	41.3%	45.7%	48.1%	50.5%	48.1%	50.4%	51.7%	60%	↑
	3	固定的性別役割分担を支持しない人の割合	43.4%	43.8%	43.2%	47.2%	45.6%	48.0%	48.6%	50.5%	50%	↑
		女性の就業割合	54.7%	53.5%	50.3%	50.3%	61.6%	61.9%	64.4%	69.4%	60%	↑
2	1	生きがい感を持っている人の割合	80.3%	80.7%	79.0%	79.1%	76.5%	75.4%	76.9%	75.5%	80%	↑
		本人が健康であると思う人の割合	66.4%	64.3%	65.9%	65.2%	66.6%	63.6%	65.9%	63.9%	70%	↑
		多様な世代と交流する機会のある人の割合	-	-	5.6%	-	4.5%	4.1%	5.2%	5.3%	10%	↑
	2	日常生活に対して不安を感じていない人の割合	3.6%	4.0%	3.0%	3.6%	3.5%	5.1%	4.3%	3.9%	3%	↑
	3	子育ての満足度	89.8%	90.5%	89.6%	90.6%	91.6%	91.4%	91.3%	91.9%	90%	↑
3	2	学習活動を行っている市民の割合	44.4%	42.2%	39.8%	39.3%	36.2%	39.0%	39.3%	36.5%	50%	↑
		学習活動の成果を地域社会で活かしている市民の割合	69.4%	66.9%	66.1%	69.3%	66.2%	58.9%	60.9%	59.4%	75%	↑
		スポーツを行なっている市民の割合	33.4%	36.0%	35.9%	36.1%	35.4%	34.4%	37.5%	34.7%	50%	↑
	3	史跡や神社、仏閣など歴史・伝統文化遺産の満足度	20.5%	18.0%	18.2%	18.0%	21.0%	17.0%	19.7%	19.1%	20%	↑
		文化・芸術に親しむ市民の割合	46.8%	44.2%	48.4%	47.0%	45.1%	43.7%	45.4%	41.5%	50%	↑
		外国籍市民と交流している人の割合	3.6%	3.0%	3.3%	3.2%	3.7%	2.1%	3.3%	3.6%	5%	↑
4	1	災害に対して自ら対策を講じている人の割合	61.7%	69.0%	70.3%	80.5%	84.0%	76.9%	81.5%	80.4%	80%	↑
	5	消費者トラブルに巻き込まれた人の割合	11.4%	11.0%	9.0%	8.7%	8.4%	8.3%	8.1%	7.9%	8%	↓
	6	緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合	21.1%	22.7%	19.4%	20.6%	22.0%	18.8%	21.5%	21.1%	25%	↑
身近で、緑が守られ、増えていると感じる人の割合		-	-	6.2%	-	8.2%	7.0%	7.4%	7.2%	18%	↑	
5	1	快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合	42.9%	37.7%	35.4%	37.8%	39.0%	35.7%	41.0%	38.6%	50%	↑
		松戸の良さを伝えるために取り組んでいる市民の割合	-	-	19.0%	-	19.6%	15.8%	17.1%	17.2%	30%	↑
	3	安心やゆとりを感じている人の割合	24.6%	25.6%	26.9%	28.2%	30.0%	30.2%	36.0%	25.6%	30%	↑
	5	緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合(再掲)	21.1%	22.7%	19.4%	20.6%	22.0%	18.8%	21.5%	21.1%	25%	↑
6	1	住み続けたいと思う人の割合	58.6%	58.2%	60.0%	61.4%	64.8%	61.3%	66.5%	68.3%	65%	↑
		行政サービスの改善度	-	-	26.8%	-	26.6%	20.0%	24.1%	25.7%	35%	↑
		行政情報入手手段に係るホームページの割合	4.8%	11.3%	14.4%	20.5%	18.9%	18.5%	16.6%	17.9%	25%	↑
		インターネットを利用している人の割合	38.1%	61.3%	60.0%	68.0%	64.0%	68.5%	68.7%	72.9%	70%	↑

